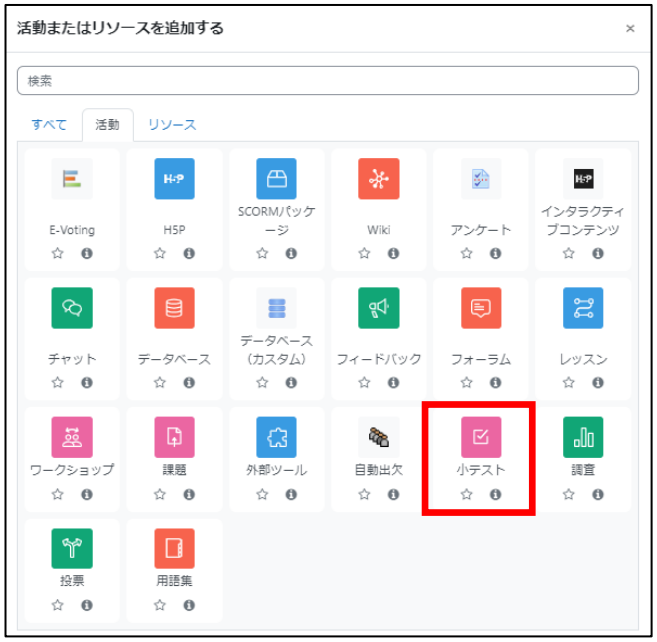
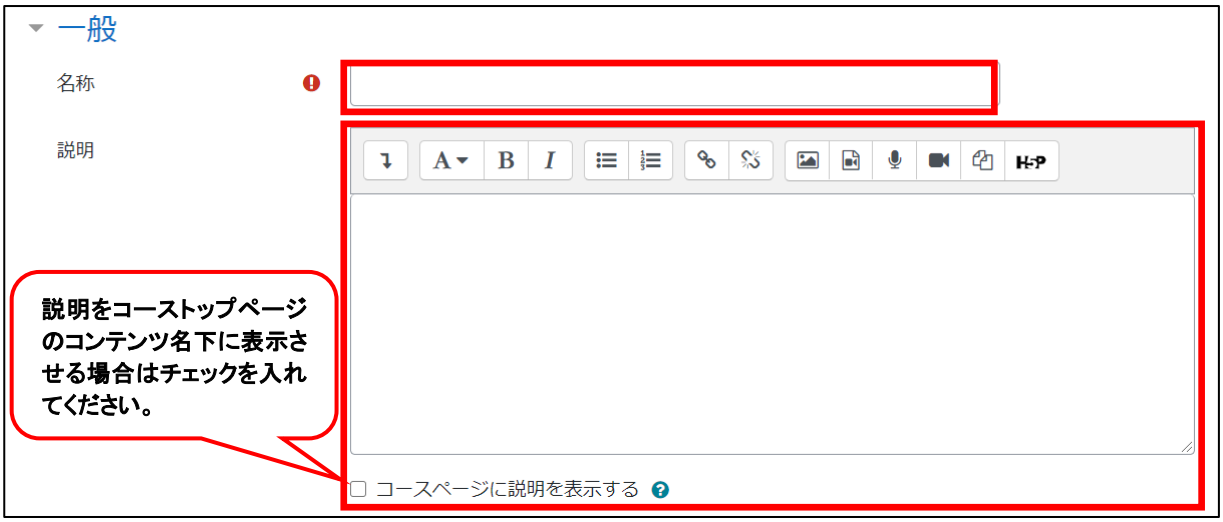
６－２　小テストの作成②（小テストの作成と設定）

１　【活動またはリソースを追加する】から【小テスト】を選択する。

①　編集モードを開始した後，トピックの【活動またはリソースを選択する】をクリックし，【活動】から【小テスト】を選択します。



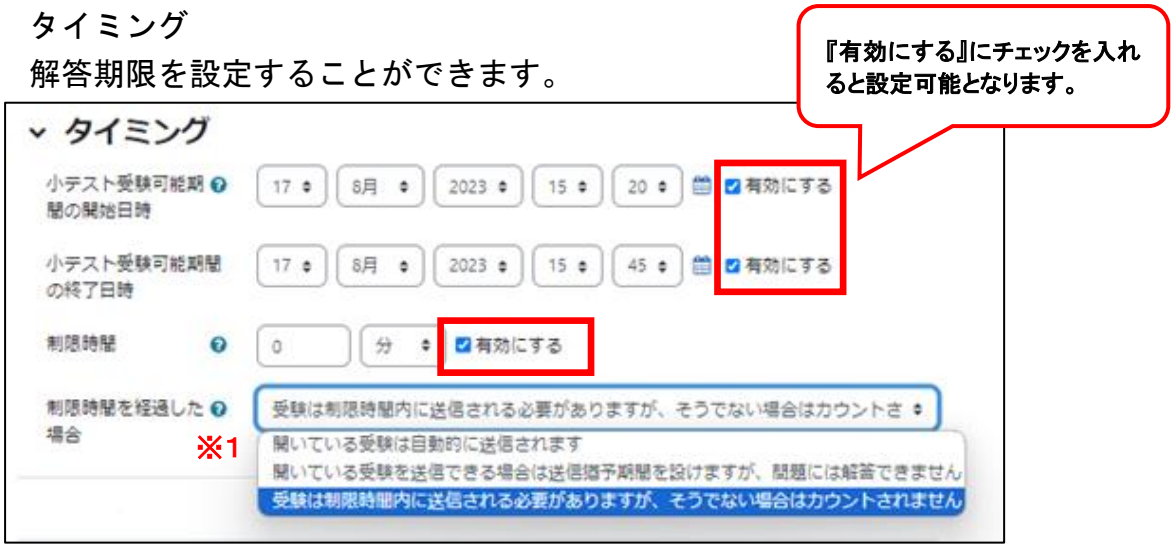
②　【名称（必須）】，【説明（必要に応じて）】を入力します。



③　小テストについての詳細を設定します。

(1)　タイミング

解答期限を設定することができます。



小テスト受験可能期間の開始日時	ここで設定した日時を過ぎると小テストが公開されます。
小テスト受験可能期間の終了日時	ここで設定した日時を過ぎると小テストが非公開になります。この時間までしか解答できません。
制限時間	学生が小テストを開始してからの制限時間を設定します。上記の【終了日時】は【制限時間】に優先します。 学生が受験を開始したタイミングによっては，設定した制限時間よりも実際の受験時間が短くなることがあります。
制限時間を超過した場合 ※１	学生が小テストを受験している場合，制限時間に達した時点で，解答がどの程度入力されているかに関わらず，小テストは自動的に提出されます。この設定では，学生が制限時間の前に小テストを受験の送信に失敗した場合の処理をコントロールします。

※1【制限時間を経過した場合】の設定

・『開いている受験は自動的に送信されます』を選択

→終了日時での解答が自動的に送信されます。

・『開いている受験を送信できる場合は猶予期間を設けますが，問題の解答はできません』

→送信猶予期間』の設定ができます。その猶予期間内に学生は解答を送信することが可能です。(新規の解答は不可)

・『受験は制限時間内に送信される必要がありますが，そうでない場合はカウントされません』

→小テスト終了日時を過ぎた時点で学生は解答を送信できなくなります。(途中解答の分も送信されず，未受験扱いとなります。)

【タイミングと利用制限の違い】

タイミング　→　終了日時をすぎても解いた問題はレビュー可能。復習可。

利用制限　→　終了日時を過ぎると閲覧不可。

(2)　評点

【受験可能回数】や【評定方法】を設定します。【評定方法】は，受験可能回数が２回以上のときに設定します。



※2【評定方法】

・『最高評点』

→受験した中で，最も高い得点の時を評点とします。

・『平均評点』

→受験の各回得点の平均点を評点とします。

・『最初の受験』

→１回目の受験の得点を評点とします。

・『最新の受験』

→最後の受験の得点を評点とします。

評定カテゴリ	この活動の評定が入る評定表内のカテゴリを管理します。
合格点	小テストを合格するのに必要な最小評点を設定します。値は活動，コース完了及び評定表で使用され，合格は緑色，不合格は赤色で表示されます。
受験可能回数	小テストを何回受験することができるかを，無制限もしくは１～10 回の間で選ぶことができます。
評定方法　※２	複数回の受験が許可されている場合，異なる方法で学生の最終評点を計算することができます。

(3)　レイアウト

小テストの問題の表示・進行方法を設定します。



※2【ナビゲーションメソッド】

・『フリー』

→学生は解答時に自由に先の問題へスキップしたり，一度解答した問題に戻ることができます。

・『順次』

→学生は小テストを順番に解答する必要があります。前のページに戻ったり，先の問題にスキップすることはできません。

新しいページ	問題数の多い小テストの場合，１ページ当たりの問題表示数を制限して表示に自動的に改ページを設けます。 小テストの編集ページで，手動で改ページの位置を変えることもできます。
ナビゲーションメソッド	小テストに解答する際の解答順を設定します。

(4)　問題の挙動

【問題動作】を設定します。デフォルトは，解答を送信（解答を完了）することで正解やフィードバックを得られる「遅延フィードバック」です。



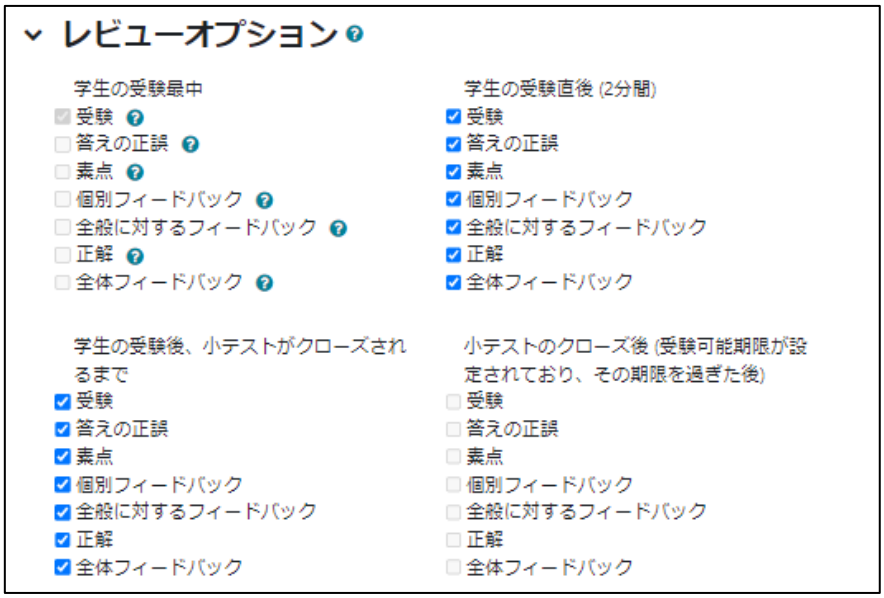
問題内部をシャッフルする	設問の選択肢の並び順がシャッフルされます。 Yes にしたうえで，各設問のシャッフル設定をすることで実際にシャッフルされます。
問題動作	学生に小テストを受験させた際に，フィードバックするタイミングを設定します。 詳細は以下【問題動作】を参照してください。
直近の回答内容を反映させる	複数回の受験が許可され，かつこの設定が Yes の場合，新しい受験では直近の回答内容が反映されます。これにより，複数回の受験で小テストが終了するよう設定することができます。

・【問題動作】の設定　※3

遅延フィードバック	小テストを完了して送信した後に，正解やフィードバックが表示されます。
即時フィードバック	１問解答して「チェック」ボタンをクリックすると正誤判定され，正解やフィードバックが表示されます。間違っていても再解答できず，次の問題へと進みます。
アダプティブモード	１問解答して「チェック」ボタンをクリックすると正誤判定され，フィードバックが表示されます。誤答の場合は改めて解答することができます。ただし，間違えるたびにペナルティとして減点されます。
複数受験インタラクティブ	１問解答して「チェック」ボタンをクリックすると正誤判定されます。不正解の場合はヒントとともに「再受験」ボタンが表示され，その問題を解答し直すことができます。再解答のたびにヒントが表示され，問題で設定されているヒントの数だけ再解答できます。（「複数受験」にて設定）ただし，間違えるたびにペナルティとして減点されます。
ＣＢＭ	Certainty-Based Marking の略。解答時，受験者は解答に加えて解答の確信度を３段階から選びます。確信度が高いと正解の得点が高くなりますが，間違えた場合には大きく減点されます。

(5)　レビューオプション

小テストのレビューにおいて，ユーザに提示する情報を設定します。



・レビューを表示するタイミング

学生の受験最中	１問解答するごとに表示します。
学生の受験直後（２分間）	受験終了後（解答の送信後）２分間表示します。
学生の受験後，小テストがクローズされるまで	受験終了後の受験期間内（(1)タイミングで設定した期間）に再度アクセスしたときに表示します。
小テストのクローズ後（受験可能期間が設定されており，その期限を過ぎた後）	受験期間終了後，小テストへアクセス時に表示します。(テスト終了日時を有効にした場合のみ設定可能)

・フィードバックの種類

受験	学生が受験全てをレビューできるか設定します。
答えの正誤	解答が正解か不正解かを表示します。
素点	それぞれの問題の評点及び試験全体の評点を表示します。
個別フィードバック	学生の選択した解答に応じて表示されるフィードバックです。以下の２つのフィードバックに対応します。どちらも問題の編集画面で設定可能です。 １　問題における解答の選択肢に対して設定するフィードバックです。その解答を選択した際に表示されます。 ２　問題の【総合フィードバック】で設定するフィードバックです。正解・不正解に応じて表示されます。

全般に対するフィードバック	問題の編集画面にある【全体に対するフィードバック】で設定するフィードバックです。正解・不正解に関わらず，受験後に問題ごとに表示されます。問題の解説を与える時に利用可能です。
正解	問題の正解を表示します。
全体フィードバック　※4	小テストの設定画面にある【全体フィードバック】で設定するフィードバックです。受験終了後に表示されます。学生の評点に応じてフィードバックを変えることができます。

(6)　全体フィードバック　※4

小テスト全体に対してのフィードバックを設定します。評点境界を複数設定して，それぞれ設定することができます。

